

Panasonic[®]

取扱説明書

マルチメディア授業支援システム

画面転送コントロールソフト

品番 **WE-AS861A**

このたびは、画面転送コントロールソフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

はじめに

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社（Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.）はいかなる責任、債務も負わないものとします。

商標および登録商標について

- L3 Stageは、松下電器産業株式会社の商標です。
- PERSONAL SURROUNDは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat® Reader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

著作権について

本製品を使用して、他人の著作物（例：CD、DVD、ビデオなどの媒体に収録されている映像・音声・静止画など）を録音、録画、編集する場合、以下の点に注意する必要があります。

- (1) 著作権上、個人的に使用する目的で著作物を複製する場合を除き、その他の複製あるいは編集などが著作権を侵害する恐れがあります。収録されている媒体などにより示されている権利者、販売元または権利者団体などを介して、著作権・著作権者から許諾を得て、複製、編集などを行う必要があります。
- (2) 学校その他の教育機関における著作物（教材など）の複製は、著作権法第35条で、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、かつ著作権者に損害を与えない範囲において著作物を複製できる、となっています。また、著作物（教材など）、またはその複製物は、著作権者の権利を侵害しない限り、お客様の責任において自由にお使いいただくことができます。

もくじ

はじめに	2
商標および登録商標について	2
著作権について	2
パッケージの内容	4
本書およびマニュアルについて	4
主な機能	9
システム構成	12
接続できる機器	12
システム構成図 授業パターン例.....	16

●基本操作編

システムの起動／終了	18
システムの電源を入れる	18
システムを終了する	19
制御パソコン画面説明	20

●設置編（システム管理者向け）

セットアップ	22
セットアップ手順	22
インストール手順	24
本ソフト用の環境設定	26
システム動作確認	33

●付録

トラブルシューティング	34
-------------------	----

パッケージの内容

- CD-R (次のデータが収められています)
 - ・画面転送コントロールソフト
- 取扱説明書 (本書)

本書およびマニュアルについて

本書の見かた

本書は、“基本操作編”と“設置編”に分かれています。

基本操作編

起動時の操作方法などについて説明しています。操作の前によくお読みください。

操作のしかたなどは、先生用操作マニュアルで説明しています。先生パソコンの画面中で [マニュアル] ボタンをクリックすると、見ることができます。

設置編

インストールや環境設定など設置に関する内容を説明しています。システム管理者および工事業者の方は、はじめによくお読みください。

文章上の表現

- 画面上のボタン類を [] でくくり、あらわしています。
[] 内の名称は、画面上の表示と一致しています。
(例) [コール] ボタン
- "☞" は、参照ページをあらわしています。

本書で使用している用語について

- EdViNS2システム : 株式会社 アイ・ディ・ケイ 社製の画像転送教育支援システムです。
- オーディオサーバー : 音声教材、アナライザー教材などを登録しておくサーバーです。

- ・学習者用ローカルステーション : 画面転送を行うための学習者用のユニットです。[切換] ボタンで先生から送られている映像と、自分のパソコン画面を切り換えることができます。
※株式会社 アイ・ディ・ケイ 社製 EdViNS2システム
- ・学習者パソコン : 学習者用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。学習者が使用します。
- ・画面切換 : 学習者パソコンに送出されている映像と自分のパソコン映像を切り換えて比較ができます。
- ・キーボードリモコン : 先生パソコンのキーボード・マウスを使用して、指定した学習者パソコンを制御できます。
- ・コントローラー : 本ソフトを使用しない時に、ボタン操作で画面転送ができます。
※株式会社 アイ・ディ・ケイ 社製 EdViNS2システム
- ・サーバー音声教材 : 一斉送出、オンデマンド開放で使用できる音声教材です。
- ・システム : マルチメディア授業支援システムのことです。
- ・スチューデントユニット : 学習者用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。
- ・制御パソコン : 制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。先生が使用します。
- ・先生パソコン : 先生用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。先生が使用します。
- ・先生用モニターディスプレイ : 学習者に送出している映像教材、学習者パソコン画面を表示するためのモニターです。
- ・先生用ローカルステーション : 画面転送を行うための先生用のユニットです。
※株式会社 アイ・ディ・ケイ 社製 EdViNS2システム
- ・センターモニター : 学習者に映像教材を見せるために設置したモニターです。
- ・ティーチャーユニット : 先生用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットやスピーカーの音量調節などを行います。

本書およびマニュアルについて（つづき）

- ・ビデオサーバー : WBT型教材の動画ファイルを登録しておくサーバーです。
- ・ファイル配信サーバー : ファイルの配布や回収を行うサーバーです。また、WBT型教材も登録します。
- ・ブラックアウト : 学習者パソコンに表示されている映像をカットします。
- ・プロセッサユニット : AV機器からの教材送出自および音声コミュニケーションを行うためのユニットです。
- ・補助制御パソコン : 補助制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。チームティーチングモードで、サブチームの先生が使用します。
- ・マスターステーション : 画面転送を行うためのユニットです。
※株式会社 アイ・ディ・ケイ 社製 EdViNS2システム

マニュアルについて

付属の先生用操作マニュアル（PDFファイル形式）をご使用になる前に本書をよくお読みください。操作マニュアルをご覧になるためには、Adobe Acrobat Reader（日本語版）が必要です。インストールされていない場合は、WE-AS860AのCD-Rに収録されているAcrobat Readerをインストールしてください。「Manual」フォルダー内の「AcroReader51-JPN.exe」アイコンをダブルクリックすると、インストールが開始されます。画面の指示に従ってください。Adobeのホームページからは取得しないでください。サポートしていないバージョンの可能性があります。

略称について

本書では、米国Microsoft Corporationの各製品を下記のように表記しています。

- ・ Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition日本語版 : Windows Server 2003
- ・ Microsoft Windows 2000 Server日本語版 : Windows 2000 Server
- ・ Microsoft Windows XP Professional日本語版 : Windows XP
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional日本語版 : Windows 2000

また、上記製品のうちいくつかに関して共通の説明を記載している箇所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。

Windowsの操作について

本書「設置編」のセットアップ作業は、必ずシステム管理者や工事業者の方などパソコンやサーバーに関する知識と経験をお持ちの方が行ってください。

Windowsに関する操作方法の詳細は、各OSの取扱説明書をお読みください。

- 本書では、共通の設定画面などはWindows2000の画面を使用しています。WindowsXPについても設定内容を参照し、それぞれの操作方法で行ってください。
- WindowsXPでは、以下の設定を行うことで、Windows2000に近い画面で操作を行うことができますようになります。

1. Windowsの「コントロールパネル」から「システム」のプロパティを開きます。
2. 「詳細設定」タブを選択し、「パフォーマンス」の「設定」ボタンをクリックします。
→パフォーマンスオプション画面が表示されます。
3. 「視覚効果」タブの「パフォーマンスを優先する」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
4. 再びWindowsの「コントロールパネル」から「タスクバーと [スタート] メニュー」のプロパティを開きます。
5. 「[スタート] メニュー」タブの「クラシック [スタート] メニュー」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
→WindowsXPの操作が、Windows2000に近い画面で操作できるようになります。

図 パフォーマンスオプション画面

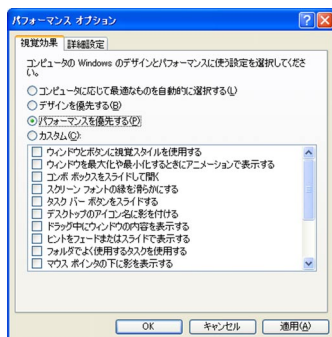


図 タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ画面



本書およびマニュアルについて (つづき)

●システムの設置～運用・メンテナンスは、以下の手順に従って行ってください。

はじめに



■ は、本システム使用時は必ず行ってください。

□ は、必ず行ってください。

□□□ は、必要に応じて行ってください。

主な機能

本ソフトウェアは、マルチメディア授業支援システムシステムソフト（WE-AS860A）と株式会社アイ・ディ・ケイ社製 EdViNS2 システムを使用して、制御パソコンから指定した学習者パソコンの映像を先生側でモニターしたり、AV教材映像を学習者パソコンの画面に表示することができ、パソコンを最大限に活かした、情報リテラシーの学習をサポートするための授業支援ソフトウェアです。

※本システムは、先生パソコン、学習者パソコンにノート型パソコンを使用することはできません。また、USB、ワイヤレスなどのキーボード・マウスには対応していません。

●主な機能

・モニター機能

制御パソコン側から、指定した学習者パソコン画面を先生用モニターディスプレイに表示できます（モニター・インカム・モデル・コールレスポンス・評価・認証エラー者通話の操作時）。

・モデル機能

モデル操作と連動して、指定した学習者パソコンの画面を他の学習者パソコン画面に表示できます。

※センターモニターシステムの場合は、全てのセンターモニターに表示されます。

・AV教材送出機能

教材送出操作と連動して、AV教材の映像を学習者パソコンの画面に表示できます（教材送出操作時）。

※センターモニターシステムの場合は、全てのセンターモニターに表示されます。

・ブラックアウト機能

オールコール操作と連動して、全ての学習者パソコンの画面をブラックアウト状態にできます。

・キーボードリモコン

インカム・コールレスポンス・認証エラー者通話の各操作と連動して、指定した学習者パソコンのキーボード・マウスを先生パソコンで操作できます。

・切替ロック機能

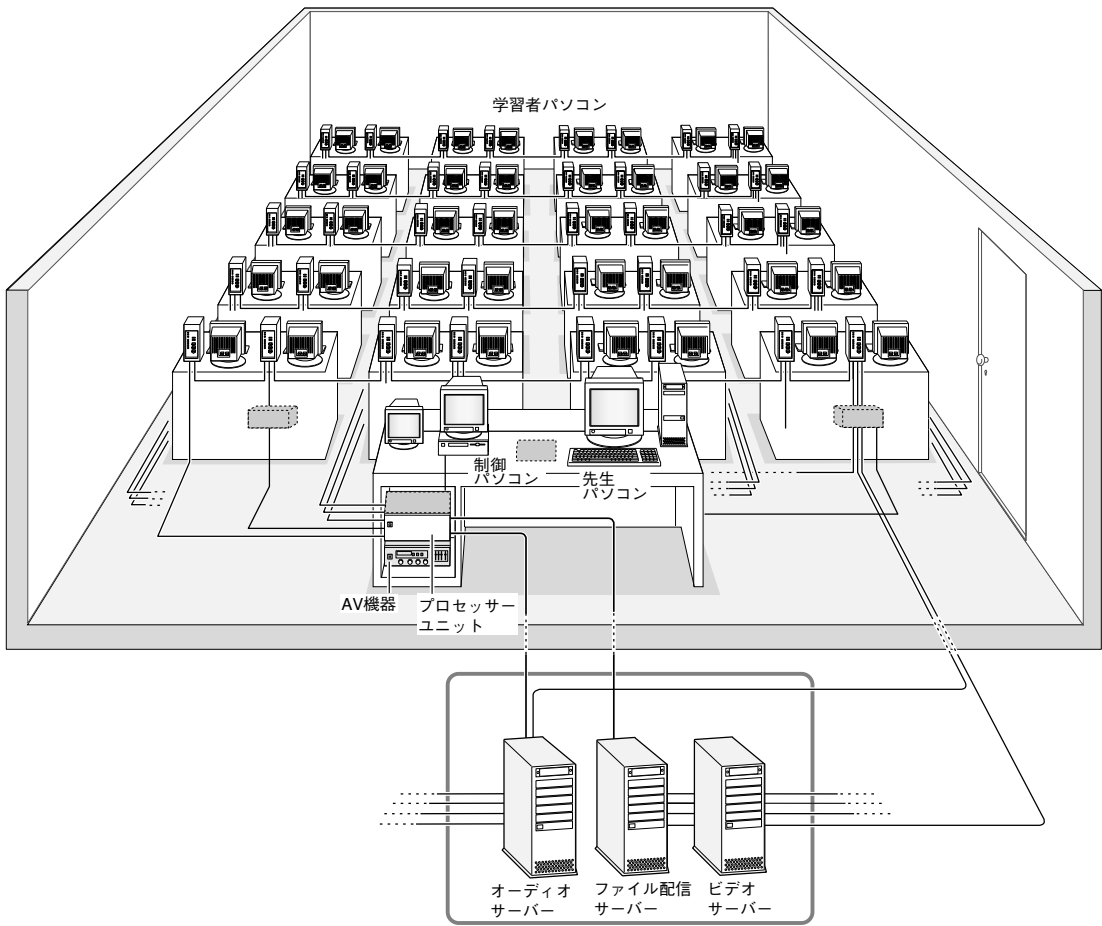
学習者用ローカルステーションの〔切替〕ボタンで、表示されている映像と自分の学習者パソコン画面の切り換えを禁止することができます。

主な機能 (つづき)

はじめに

●標準システム

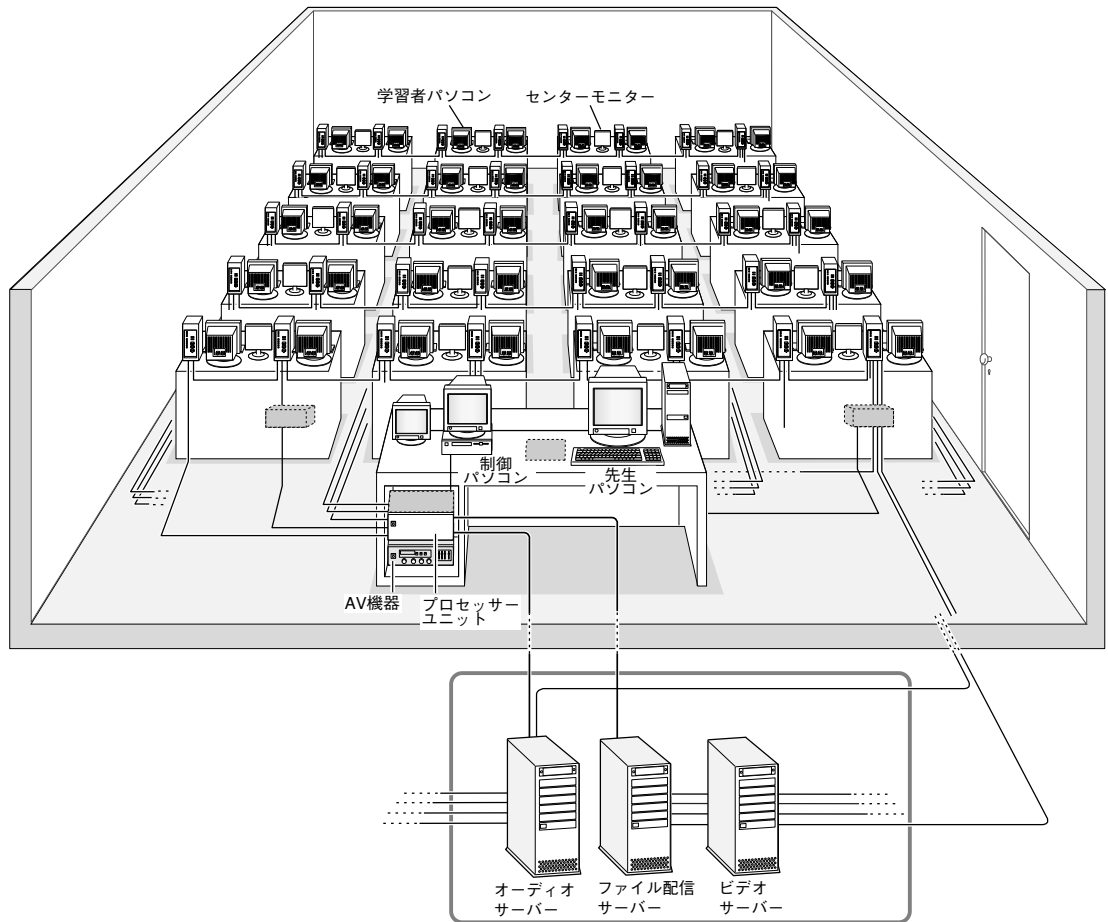
指定した学習者パソコンの画面や、AV機器の映像を学習者パソコンの画面に表示することができます。



(イメージ図)

●センターモニターシステム

指定した学習者パソコンの画面や、AV機器の映像をセンターモニターの画面に表示することができます。



(イメージ図)

システム構成

接続できる機器 ※システム構成図授業パターン例 (☞16ページ) をご参照ください。

※	品名	別売品品番 (仕様)	接続可能台数	備考
---	----	------------	--------	----

●制御パソコン・先生パソコン部

①	プロセッサユニット	WE-CL860	1	
②	コミュニケーションカード	WE-ZC861	1~10	
③	リレーカード	WE-ZC862	0~1	
④	ティーチャーユニット	WE-CM80	1	
⑤	スチューデントユニット	WE-CB80A	1	
⑥	システムソフト	WE-AS860	1	
⑦	オーサリングソフト	WE-AS870	1	
⑧	ヘッドセット	WE-HS21、 WE-HS30※	2~3	※イヤークリップは消耗品(有償)です。品番: STE69HK1
⑨	電源制御ユニット	WU-L62	0~必要数	
⑩	マイクロホン (卓上型)		0(必要に応じて)	
⑪	制御パソコン本体+ タッチパネルディスプレイ	1(☞15ページ) 1(☞15ページ)	1	
⑫	先生パソコン+ディスプレイ	1(☞15ページ)	1	
⑬	補助制御パソコン本体+ タッチパネルディスプレイ		1	
⑮	スイッチングHUB		学習者パソコンの台数に応じて	

●AV教材機器

⑰	ルームスピーカー		2	
⑳	アンプ		1	
㉑	オーバーヘッドカメラ (OHC)	RGB(WE-HV80)または NTSC(WE-MV180B)	1 0~1	
㉒	ダウンコンバーター			WE-HV80接続時必要
㉔	ビデオプロジェクター	RGB+NTSC入力	1	
㉕	VTR		必要に応じて	
㉖	マスターテープレコーダー (MTR)	WE-LM51	1	
㉗	PanaBOX	AG-VC205	0~5	ACアダプターDC12V 1A必要
㉘	MD/CD		1	
㉙	DVD/CD		必要に応じて	
㉚	先生用モニター	NTSC	1	
㉛	RGB分配器		1	
㉜	アップコンバーター		1	

●オーディオサーバー部

③4	サーバー本体+ディスプレイ	1(※15ページ)	1	
③5	無停電電源		1	

●ファイル配信サーバー部

③5	無停電電源		1	
③6	サーバー本体+ディスプレイ	1(※15ページ)	1	

●学習者パソコン部

④7	スチューデントユニット	WE-CB80A	1~80	
④8	ヘッドセット	WE-HS21、 WE-HS30※	1~80	※イヤークッションは消耗品(有償)です。品番：STE69HK1
⑤0	学習者パソコン+ディスプレイ	1(※15ページ)	1~80	

●ケーブル類：音声系

⑤1	ティーチャーユニット プロセッサユニット	UTPケーブル カテゴリ5 ストレート	1	
⑤2	スチューデントユニット(補助制御パソコン用) プロセッサユニット		1	
⑤3	ティーチャーユニット プロセッサユニット		スチューデントユニット の台数分	
⑤4	スチューデントユニット プロセッサユニット	SP CONTケーブル	1	WE-CL860に付属
⑤5	プロセッサユニット-AV機器	RCAステレオプラグ	最大6	必要数
⑤6	プロセッサユニット-AUX機器	RCAステレオプラグ	0 / 1	システム構成により選択
⑤7	プロセッサユニット 制御パソコン本体	RCAステレオプラグ -	2	
⑤8	プロセッサユニット 先生パソコン本体	ステレオミニプラグ	1 / 0	システム構成により選択
⑤9	ティーチャーユニット 先生パソコン本体	ステレオミニプラグ -	0 / 1	システム構成により選択
⑥0	スチューデントユニット 補助制御パソコン本体		2	
⑥1	スチューデントユニット 補助制御パソコン本体		スチューデントユニットの 台数分×2	

システム構成（つづき）

※	品名	別売品品番（仕様）	接続可能台数	備考
---	----	-----------	--------	----

●ケーブル類：映像系

63	先生パソコン本体ー プロセッサユニット	RGBーRGB	1	シュリンクD-SUB 15P
64	先生+ディスプレイー プロセッサユニット		1	ディスプレイに付属の場合が多い
65	アップコンバーターー プロセッサユニット		1	
66	ダウンコンバーターー プロセッサユニット		0 / 1	ダウンコンバーター使用時
67	RGB分配器／VPー プロセッサユニット		2	
68	RGB分配器ー 学習者RGBモニター		1以上	長さに応じて最適化が必要
69	プロセッサユニットー AV機器	RCAプラグー RCAプラグ	最大5	必要数
70	プロセッサユニットー OHC/ダウンコンバーター	RCAプラグー 機器側コネクター	1	
71	プロセッサユニットー アップコンバーター／VP	RCAプラグー 機器側コネクター	1	
72	プロセッサユニットー 学習者NTSCモニター	RCAプラグー 機器側コネクター	0	分配器などを使用すること
73	プロセッサユニットー 制御パソコン本体	RCAプラグー 機器側コネクター	1	

●ケーブル類：制御系

74	制御パソコン本体ー PanaBOX	RS-232Cケーブル ストレート	0～1	PanaBOX参照 9P メスー25Pオス
75	PanaBOXーPanaBOX	RS-232Cケーブル ストレート	0～4	PanaBOX参照 25P メスー25Pオス（付属品）
76	制御パソコン本体ー タッチパネルディスプレイ	RS-232Cケーブル	1～2	ディスプレイに付属の場合が多い
77	制御パソコン本体ー ティーチャーユニット		1	
78	制御パソコン本体ー プロセッサユニット	USBケーブル AタイプーBタイプ	1	
80	学習者パソコン本体ー スチューデントユニット		学習者パソコンの 台数分	
81	プロセッサユニットー 制御インターフェース	リレー接点ー 各種機器間ケーブル 接点容量： DC30 V / 1A以内	0～16	使用可能電線：単線φ 0.4～φ1.2（AWG26～16） より線0.3 mm ² ～1.25 mm ² （AWG22～16）

※	品名	別売品品番（仕様）	接続可能台数	備考
---	----	-----------	--------	----

●ケーブル類：LAN

83	先生パソコン本体－HUB	UTPケーブル	1	
84	制御パソコン本体－HUB	カテゴリ5	1	
85	補助制御パソコン本体－HUB	ストレート	1	
86	本体－HUB		学習者パソコンの台数分	
87	オーディオサーバー－HUB ファイル配信サーバー－HUB	UTPケーブル カテゴリ5 Eストレート	各1	
88	ビデオサーバー－HUB HUB－HUB（カスケード）	UTPケーブル カテゴリ5 Eクロス	0～3	

●画面転送システム

89	RS-232C通信ボード	COM-2（PCI）H	必要に応じて	（株）コンテック社製
90	画面転送コントロールソフト	WE-AS861A	1	
91	コントローラー	EdViNS2システム	1	（株）アイ・ディ・ケイ社製
92	マスターステーション	EdViNS2システム	1	（株）アイ・ディ・ケイ社製
93	先生用ローカルステーション	EdViNS2システム	1	（株）アイ・ディ・ケイ社製
94	学習者用ローカルステーション	EdViNS2システム	1～40	（株）アイ・ディ・ケイ社製
95	センターモニター用 ローカルステーション	EdViNS2システム	1	（株）アイ・ディ・ケイ社製*2
96	RGB分配器	EdViNS2システム	1	（株）アイ・ディ・ケイ社製*2
97	先生用モニターディスプレイ	RGB	1	
98	センターモニター	RGB	生徒台数の半分	2人に1台のとき *2

*2 はセンターモニターシステムの場合

●機器の仕様

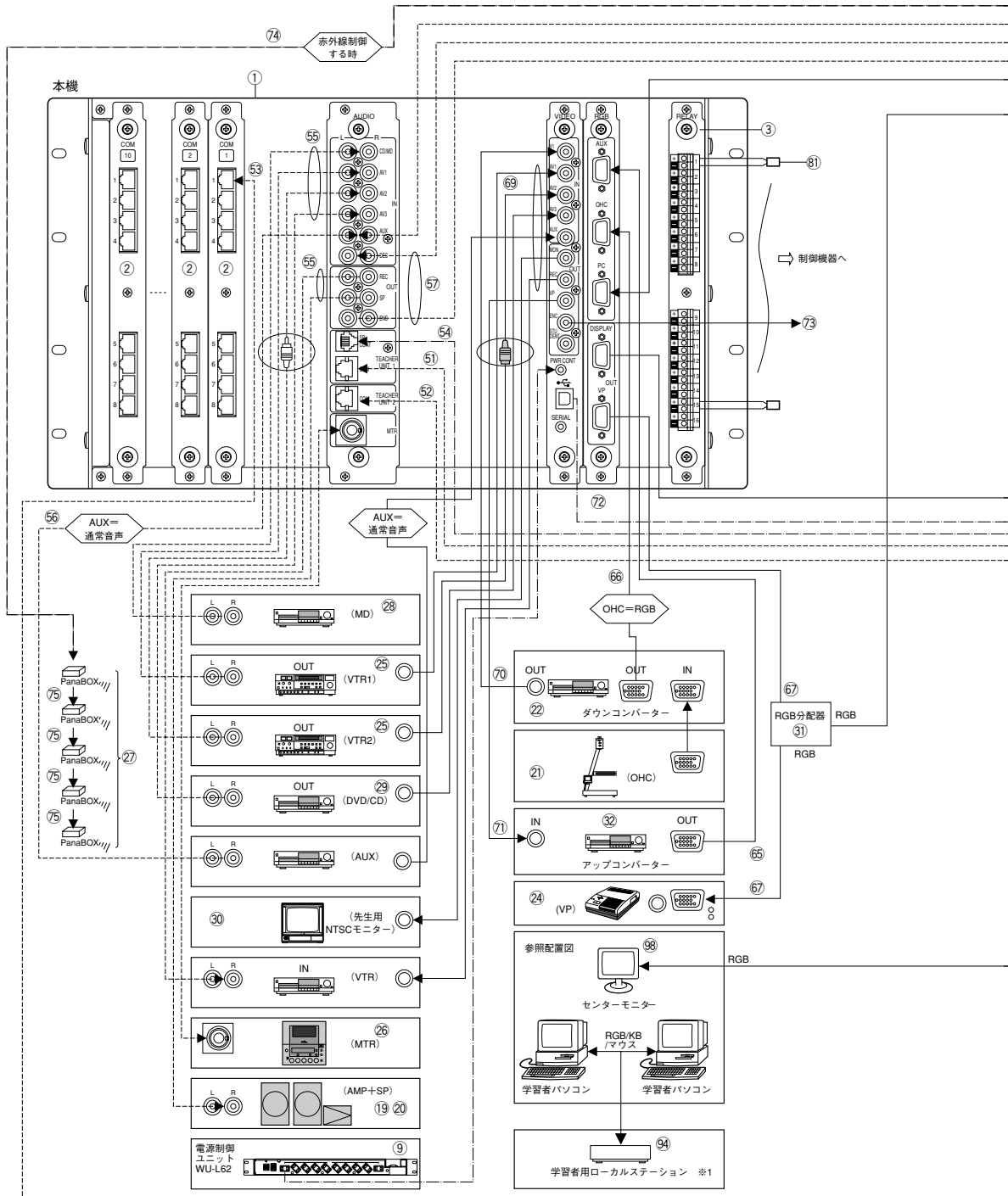
機 器	制御パソコン	先生パソコン ³	学習者パソコン ³	オーディオサーバー ビデオサーバー	ファイル配信サーバー
CPU	Pentium III 800 MHz以上				
メモリ	256 MB以上				
IDEハードディスク	IDE 9GB以上			-----	
SCSIハードディスク	-----			UltraSCSI 9GB 以上 7 200 rpm以上	
SCSIカード	-----			Ultra SCSI以上	
SCSIハードディスク （増設）	-----			SEAGATE社 CheetahXL指定9GB以上 (Ultra 160 SCSI 10 000rpm)	
SCSIカード（増設）	-----			Adaptec社 Ultra 160 SCSI 29160	
ネットワーク機能	100 Base-TX 1ポート			100Base-TX 1ポート	
サウンド機能	Sound BLASTER 互換 AC '97オーディオ対応 ステレオライン入力/出力があること			-----	
USBインターフェース	USB(V1.1以上) 2ポート以上	USB(V1.1以上) 1ポート以上		-----	
シリアル インターフェース	RS232C3ポート以上 (ParaBOX タッチ パネル 画面転送用)	-----		RS-232C 1ポート以上 (無停電電源用)	
OS	Windows2000/WindowsXP			Windows2000 Server/Windows Server2003	
周辺機器	PS/2 キーボード/マウス CRT (XGA以上)				

*3 ノート型パソコンは使用できません。

システム構成 (つづき)

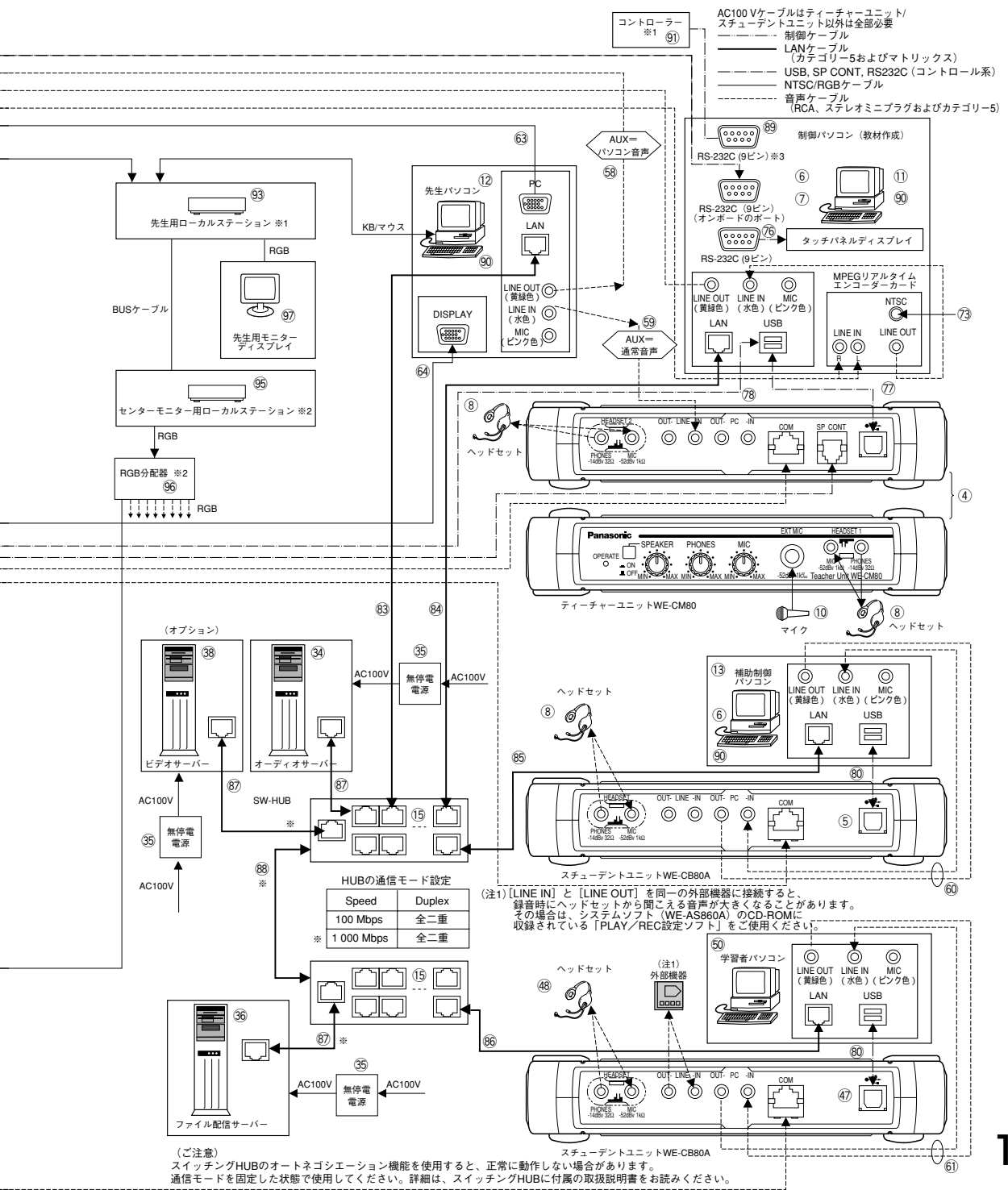
システム構成図 授業パターン例

※ 画面転送コントロールソフトを使用する場合は、必ず図の指示通りに行ってください。
指示通りに行わないと、操作画面と動作が異なります。



はじめに

- ※1、※2は (株) アイ・ディ・ケイ社製 EdViNS2 システムを使用します。
また、※2は学習者側にセンターモニターを設置する場合のみ使用します。
- EdViNS2 システムと各パソコンの接続は、EdViNS2 システムに付属の説明書をご参照ください。
- ※3は、制御パソコンにRS-232C準拠のシリアル入出力ポートがない場合、RS-232C通信ボード ((株) コンテック社製 COM-2(PCI)H) が別途必要になります。



システムの起動／終了

システムの電源を入れる

1. 周辺機器の電源を入れます（HUB、AV機器など）。
※HUBは、必ずサーバーよりも先に電源を入れてください。
2. 各種サーバーを起動します（画面の指示に従ってください）。
3. プロセッサユニットの電源を入れます。
4. マスターステーション本体の電源を入れます。
5. 制御パソコン、補助制御パソコンを起動します。
6. 先生パソコンを起動します。
7. 学習者パソコンを起動します。

システムを終了する

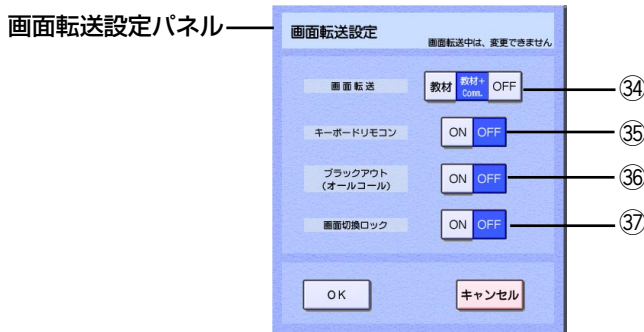
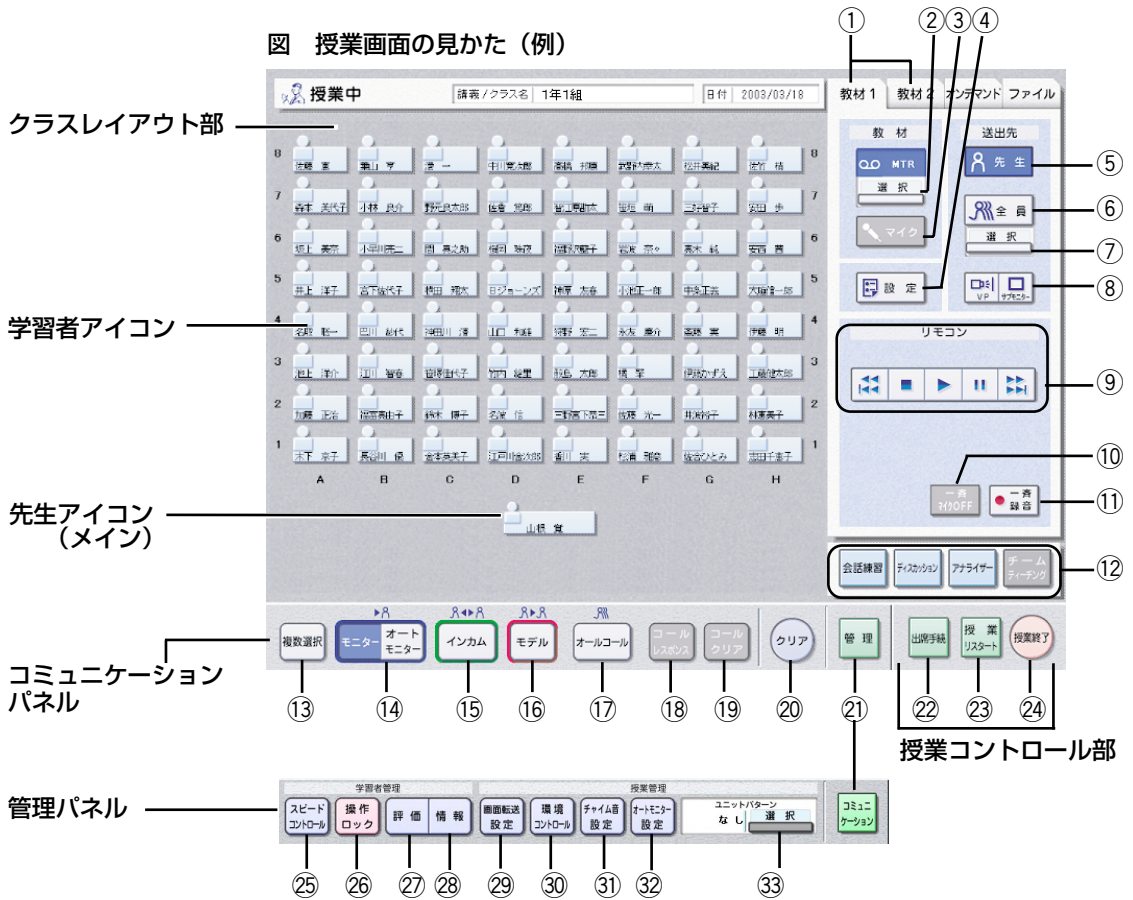
1. 制御パソコンの授業画面で、[授業終了] ボタンを押します（☞20,21 ページ）。
2. 学習者パソコン・先生パソコンは、制御パソコンの [授業終了] ボタンと連動して動作します。学習者パソコンの動作は、以下の場合があります。
 - 認証入力パネルが表示される→ [電源OFF] をクリックします。
 - Windows画面に戻る→Windowsの終了操作を行います。
 - 電源OFFされる→学習者は操作不要です。これらの設定は、システム運用管理の先生別設定で行います。
3. 制御パソコン、補助制御パソコンでトップメニューから [終了] ボタンを押します（☞システムソフト WE-AS860Aの取扱説明書）。システム運用管理の設定により、Windows画面に戻るか、または電源OFFされます。Windows画面では、終了操作を行ってください。
4. 各種サーバーを終了します（24時間稼働以外の場合）。
 - ① Windowsを終了操作（シャットダウン）します。
 - ② サーバーの電源を切ります。
5. プロセッサユニット、周辺機器の電源を切ります。
6. マスターステーション本体の電源を切ります。

システムの起動／終了（つづき）

制御パソコン画面説明

※補助制御パソコンでは、コミュニケーションパネルのみ操作できます。
 ※起動のしかたは、システムソフト（WE-AS860A）の取扱説明書をご参照ください。

図 授業画面の見かた（例）



基本操作編

教材タブ

- ① **【教材】タブ**：AV教材・サーバー教材の送出行を行います。
- ② **教材【選択】**：教材を選択します。
- ③ **【マイク】**：先生の声を教材にミキシングします。
- ④ **【設定】**：教材の送出手法を設定します。
- ⑤ **【先生】**：先生に教材が聞こえます。
- ⑥ **学習者送出行ボタン**：学習者への送出行開始／終了。表示されている送出行先が対象です。
- ⑦ **送出行先【選択】**：送出行先を選びます。
- ⑧ **【VP／ディスプレイ】**：ビデオプロジェクター、学習者パソコンのディスプレイ（センターモニター）に、選択中の教材を表示します。
- ⑨ **リモコン操作部**：AV機器、サーバー教材をリモコンします。
- ⑩ **【一斉マイクOFF】**：学習者のマイク音声を一斉にOFFにします。
- ⑪ **【一斉録音】**：学習者パソコンに教材を録音します。
- ⑫ **授業モードパネル**：押すと、各授業モードが起動します。

コミュニケーション
パネル

- ⑬ **【複数選択】**：複数学習者と音声コミュニケーションできます。
- ⑭ **【モニター、オートモニター】**：学習者の音声などをモニターします。
- ⑮ **【インカム】**：学習者と通話できます。
- ⑯ **【モデル】**：指定した学習者の音声を他の学習者に聞かせます。
- ⑰ **【オールコール】**：全員に先生の声を聞かせます。
- ⑱ **【コールレスポンス】**：学習者からのコールに回答します。
- ⑲ **【コールクリア】**：学習者からのコールを全てクリアします。
- ⑳ **【クリア】**：音声コミュニケーションを終了します。
- ㉑ **【管理・コミュニケーション】**：押すとパネルが切り換わります。
- ㉒ **【出席手続】**：出席を締め切ったり遅刻者を組み入れます。
- ㉓ **【授業リスタート】**：行った操作を無効にして授業開始時に戻ります。
- ㉔ **【授業終了】**：授業画面を終了します。

管理パネル

- ㉕ **【スピードコントロール】**：学習者の教材再生スピードを制御します。
- ㉖ **【操作ロック】**：学習者パソコンの操作を禁止します。
- ㉗ **【評価】**：学習者に対する評価値を登録します。
- ㉘ **【情報】**：学習者に関する情報を参照・登録します。
- ㉙ **【画面転送設定】**：押すと画面転送設定パネルが表示されます。
- ㉚ **【環境コントロール】**：教室内の設備をリモコンできます。
- ㉛ **【チャイム音設定】**：操作時のチャイム音の有無を設定します。
- ㉜ **【オートモニター設定】**：オートモニターの時間と方向を設定します。
- ㉝ **ユニットパターン【選択】**：ユニットパターンを選択します。

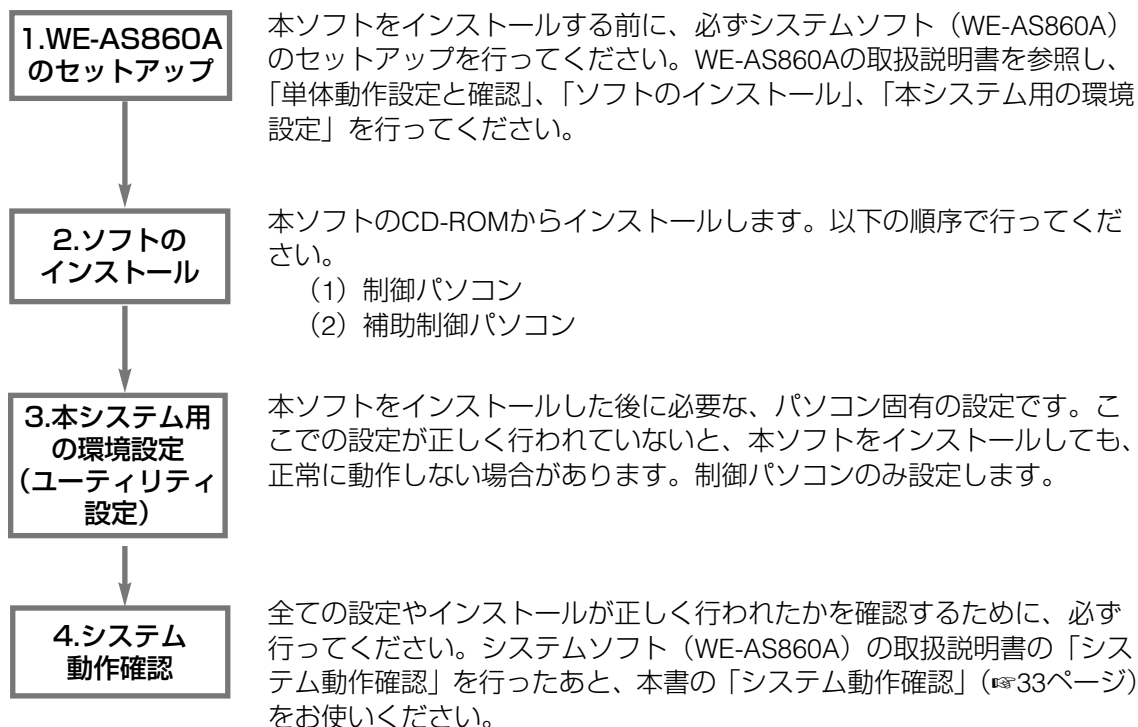
画面転送設定
パネル

- ㉞ **画面転送設定**：画面転送の有無を設定します。
- ㉟ **キーボードリモコン**：キーボードリモコンの有無を設定します。
- ㊱ **ブラックアウト**：学習者パソコンのブラックアウトの有無を設定します。
- ㊲ **画面切替ロック**：学習者用ローカルステーションの【切替】ボタン操作の有無を設定します。

セットアップ

セットアップ手順

本システムのセットアップは、以下の手順で行います。



注意

セットアップの各作業は、各機器ともAdministrator権限を持つユーザーでログインして行ってください。

●本ソフトのセットアップ

確認

事前確認	1. パソコンなどの単体動作環境設定と確認 (☞システムソフト(WE-AS860A)の取扱説明書)	
	2. システムソフト (WE-AS860A) などのインストール (☞システムソフトの取扱説明書)	
	3. システムソフト (WE-AS860A) 用の環境設定 (☞システムソフトの取扱説明書)	
インストール	1. 制御パソコンへのインストール (☞24ページ) Setup.exeの格納場所 (WE-AS861A CD-ROM) : ¥Teacher¥ProcessorPCフォルダー内	
	2. 補助制御パソコンへのインストール (☞24ページ) Setup.exeの格納場所 (WE-AS861A CD-ROM) : ¥Teacher¥SubPCフォルダー内	
	3. 再起動	
本システム用の環境設定	1. 制御パソコンのユーティリティ設定 (☞26ページ) 2. 設定のバックアップ (外部記録メディアへ保存、およびファイル配信サーバーに「L3back」フォルダー (共有) を作成して以下のフォルダーを保存) C:¥Program Files¥L3Stage C:¥Program Files¥FileReceiver C:¥WINNT¥System32¥Drivers¥ETC¥hosts (WindowsXPの場合は、C:¥Windows¥System32・・・) ※システムソフト (WE-AS860A) の設定も同時にバックアップできます。	

システム動作確認へ (☞33ページ)

セットアップ (つづき)

インストール手順

●インストール手順

本ソフトのインストールは、以下の手順でおこなってください。

1. 制御パソコンへのインストール
2. 補助制御パソコンへのインストール

●セットアッププログラムの開始方法

- ①システムソフト (WE-AS860A) がインストールされたパソコンのCD-ROMドライブに、本ソフトのCD-ROMをセットします。
WindowsXPをご使用の場合は、挿入したディスクに対しての動作を選択するウィンドウが開きますので、「フォルダーを開いてファイルを表示する エクスプローラ使用」を選んで [OK] ボタンをクリックします。
操作手順④に進んでください。
- ②マイコンピュータのアイコンをダブルクリックします。
- ③CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックします。
- ④各セットアッププログラムが格納されているフォルダーを開き、
setup.exeをダブルクリックします。
* setup.exeの格納先フォルダーは、各ソフトのセットアップ手順をお読みください。
→セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ⑤ライセンス契約画面において、内容をよくお読みいただき、同意される場合は、[はい] ボタンをクリックします。

-
- ⑥インストールを実行する場合は、[はい]（または [次へ]）ボタンをクリックします。
インストールパスは変更しないでください。
→インストールが開始されます。インストールが完了すると、セットアップ完了画面が表示されます。
 - ⑦続けて他のソフトをインストールする場合は、“いいえ、後でコンピュータを再起動します”を選択し、[完了] ボタンをクリックします。インストール作業が全て終了し、設定作業に移る場合は、“はい、直ちにコンピュータを再起動します。”を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

●アンインストール方法

本ソフトを削除するときは、次の方法で行ってください。

- ①Windowsの「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」（WindowsXPをご使用の場合は「プログラムの追加と削除」）を開きます。
- ②ダイアログリストの中から「L3 Stage（画面転送）」を選択します。
- ③ [変更／削除] ボタンをクリックします。その後、画面の指示に従って操作を行ってください。

本システム用の環境設定

本ソフト用の環境設定

●制御パソコンのユーティリティ設定

画面転送コントロールで使用するEdViNS2 システムの設定を行います。

設定の条件として、全ての機器の設置と接続、システムソフト（WE-AS860A）のインストールと環境設定、および画面転送コントロールソフトのインストールが終了している必要があります。

画面転送コントロールソフトを動作させるために、下記の項目の設定を行います。

1. 接続パターンの設定 (☞28ページ)
2. システム構成の設定 (☞30ページ)
3. 使用する通信ポートの設定 (☞30ページ)
4. 学習者用ローカルステーションのポート設定 (☞30ページ)
5. センターモニター用ローカルステーションのポート設定 (☞31ページ)

1. ユーティリティ設定ツールを起動します。

①各種サーバーが起動しているか確認します。

②制御パソコンを起動し、Windowsの「エクスプローラ」を開き、次のファイルを起動します。

C:¥Program Files¥L3Stage¥Master¥bin¥SYS_UTL.exe

→ユーティリティ設定ツールが起動し、主要PC情報設定画面が表示されます。

③先生パソコンの電源を入れ、Windowsを起動してログインします。

④補助制御パソコンがある場合は電源を入れ、Windowsを起動してログインします。

2. AV機器設定を行います。

- ①制御パソコンに表示されている主要PC情報設定画面の [メニュー画面へ] ボタンをクリックします。

図 主要PC情報設定画面

主要PC情報設定

主要なパソコンの情報を設定してください。

制御パソコン: ホスト名: ctrl-pc アドレス: 192.168.1.11

先生パソコン: 使用する ホスト名: TeacherPC アドレス: 192.168.1.12 チェック

オーディオサーバー: 使用する ホスト名: A-Server アドレス: 192.168.1.21 チェック

ファイル配信サーバー: 使用する ホスト名: F-Server アドレス: 192.168.1.22 チェック

補助制御パソコン: 使用する ホスト名: SubPC アドレス: 192.168.1.13 チェック

メニュー画面へ OK キャンセル

- ②設定内容更新の確認パネルが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

→設定/確認メニュー画面が表示されます。

図 設定/確認メニュー画面

設定/確認メニュー

設定/確認する項目を選択してください。

座席レイアウト

LANアドレス設定

プロセッサユニット接続設定

AV機器設定

音声環境設定

環境コントロール設定

接続チェック

画面転送設定

認証サーバー連携設定

ファイルサーバー設定

自動審判教材設定

OK キャンセル

本システム用の環境設定（つづき）

- ③ [AV機器設定] ボタンをクリックします。
→AV機器設定画面が表示されます。

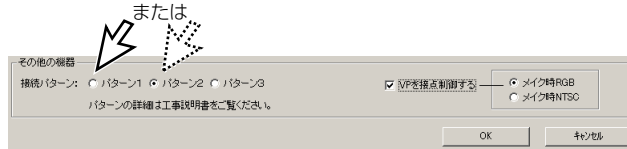
図 AV機器設定画面



- ④ 「その他の機器」の接続パターンで、「パターン1」または「パターン2」を選択します。

※本システムでは、プロセッサユニットのRGB VP出力ポートにVPと先生用ローカルステーションに接続するため、必ず「パターン1」か「パターン2」を選択してください。

図 「その他の機器」設定部分

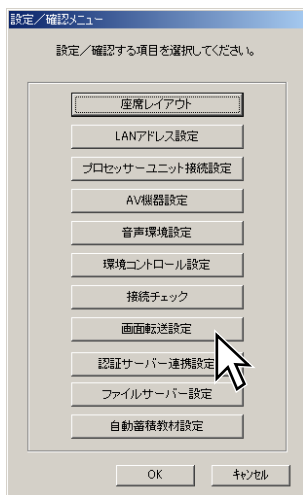


- ⑤設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。
→設定を保存し、設定/確認メニュー画面に戻ります。

3. 画面転送に関する各項目の設定を行います。

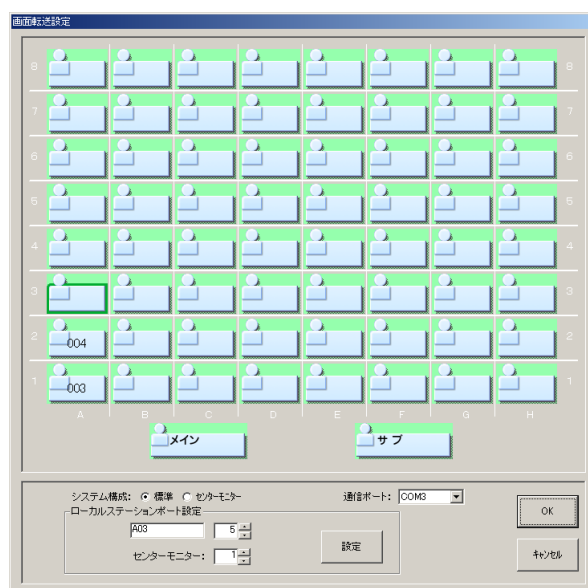
- ①設定／確認メニュー画面の〔画面転送設定〕ボタンをクリックします。

図 設定／確認メニュー画面



→画面転送設定画面が表示されます。

図 画面転送設定画面



本システム用の環境設定（つづき）

②システム構成を選択します。「標準」または「センターモニター」のいずれかをチェックします。

システム構成: 標準 センターモニター

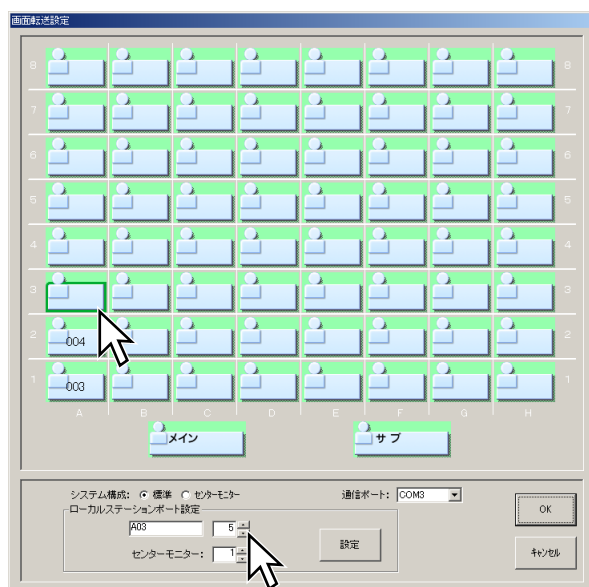
③EdViNS2 システムのコントローラーとの接続に使用するRS-232Cポートを設定します。必ず、COM1～COM5の中から選択してください。

通信ポート: COM3

④学習者パソコンに接続する学習者ローカルステーションのポート番号を設定します。

設定および変更したい座席を選択して、学習者ローカルステーションのポート番号を選択または入力します。

図 画面転送設定画面



⑤ポート番号を設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

図 ローカルステーションポート設定画面



→座席上にポート番号が表示されます。

ポート番号は3～144までの番号を設定できます。

※ポート番号は、EdViNS2 システムに付属されている「EdViNS2 Local Station Map」をお読みください。

- ⑥センターモニターを接続するセンターモニター用ローカルステーションのポート番号を設定します（システム構成で「標準」をチェックした場合は、設定が無効になります）。1～2の中から選択してください。

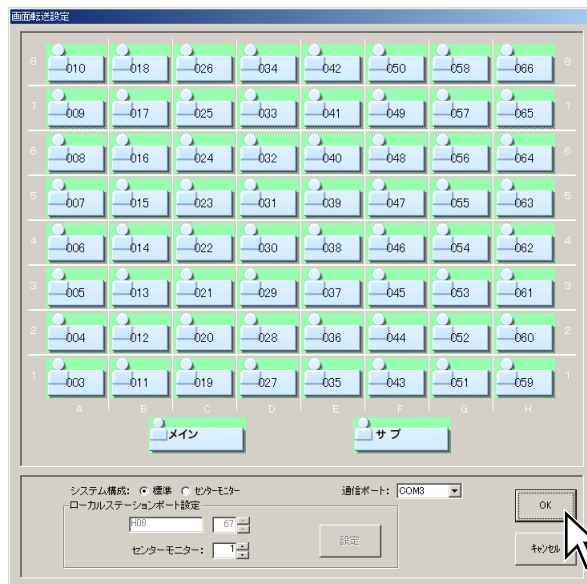
図 ローカルステーションポート設定画面



4. 設定内容を保存します。

- ①全ての設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

図 画面転送設定画面

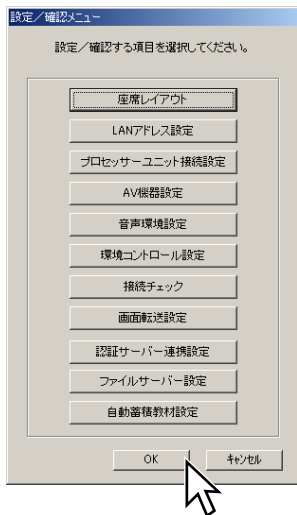


→設定内容を保存して、設定／確認メニュー画面に戻ります。

本システム用の環境設定（つづき）

②設定／確認メニュー画面で、[OK] ボタンをクリックします。

図 設定／確認メニュー画面



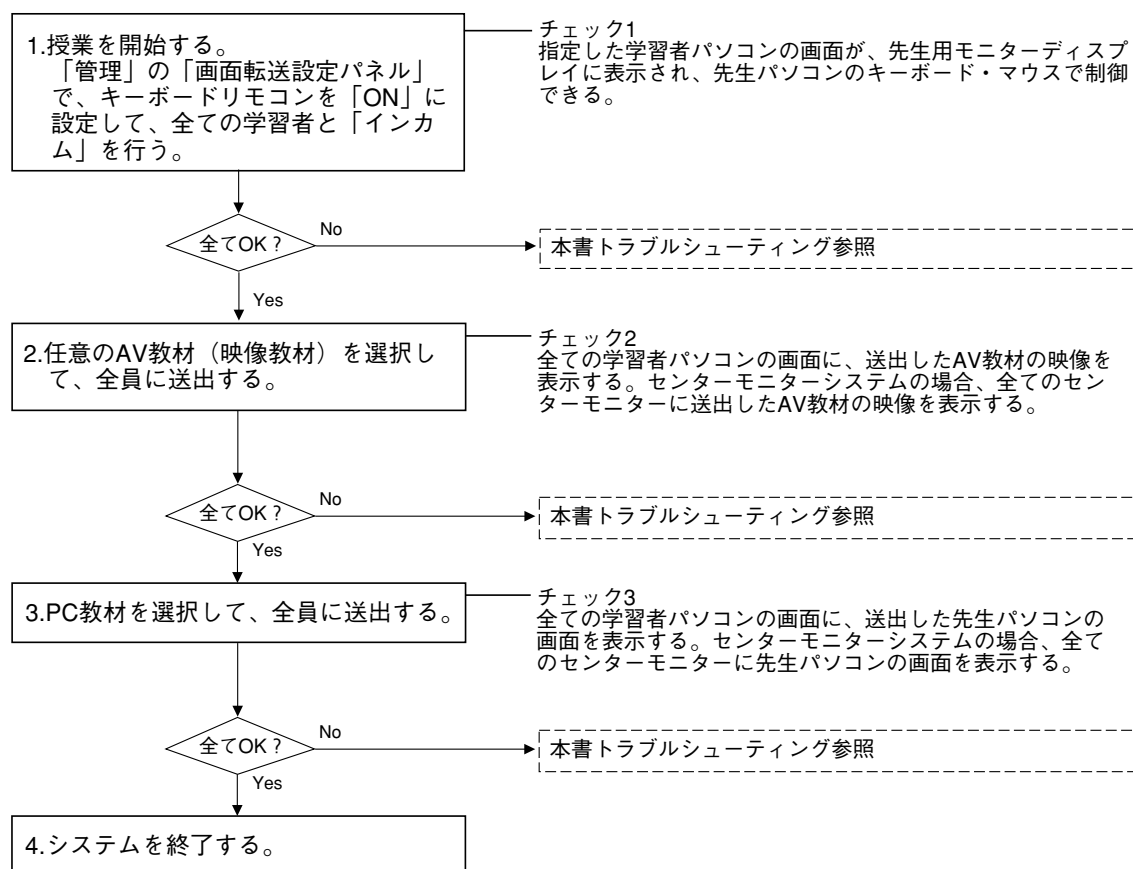
→設定終了確認パネルが表示されますので、設定を保存する場合は [はい] ボタンを、設定を保存しない場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。

注意

ローカルステーションのポート番号が設定されていない座席が存在すると、設定を保存することができません。全ての座席にポート番号を設定して保存してください。

システム動作確認

システムソフト（WE-AS860A）のシステム動作確認（WE-AS860Aの取扱説明書参照）を行った後に、画面転送コントロールソフトのシステム動作確認を行ってください。



トラブルシューティング

ここでは、システム動作確認時および運用中に起こったトラブルへの対処方法を説明します。「確認していただく内容」に従ってご確認ください。それでも直らないときはシステムの電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

画面転送に関するトラブル

症状	確認していただく内容
画面転送コントロールソフトのインストールができない	●システムソフト（WE-AS860A）がインストールされているか、確認してください。
授業開始直後にシステムエラーが表示される	●制御パソコンとEdViNS2 システムの接続を確認し、電源が入っていない場合は、電源を入れて制御パソコンを再起動してください。 ●EdViNS2 システム マスターステーションの電源が入っているか確認し、電源が入っていない場合は、電源を入れて制御パソコンを再起動してください。
指定した学習者パソコンの画面が先生用モニターディスプレイに表示されない	●指定した学習者の座席と、EdViNS2 学習者ローカルステーションのポート番号が正しいか、ユーティリティソフトで確認してください。
コミュニケーションと連動して、画面転送ができない	●画面転送設定パネルの「画面転送設定」の項目が「教材+ Comm.」がON状態になっているか、確認してください。 ●教材送出中／ディスカッション中／会話練習中／チームティーチング中でないかを確認してください。
教材送出と連動して、画面転送ができない	●画面転送設定パネルの「画面転送設定」の項目が「OFF」選択されていないかを確認してください。
授業中、システムエラーが表示される	●制御パソコンとEdViNS2 システムの接続を確認してください。 ●EdViNS2 システム マスターステーションの電源が入っているか確認し、電源が入っていない場合は、電源を入れて制御パソコンを再起動してください。
画面転送設定パネルが開かない	●制御パソコンとEdViNS2 システムの接続を確認してください。 ●EdViNS2 システム マスターステーションの電源が入っているか、確認してください。
画面転送設定パネルの項目を変更できない	●コミュニケーションおよび教材送出の画面転送を行っていないか確認してください。
指定した学習者パソコンのキーボード・マウスの制御ができない	●先生パソコンのキーボードおよびマウスの接続を確認してください。 ●制御パソコンの管理「操作ロック」でいずれかのロックがかかっていないか確認してください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-AS861A
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

首都圏本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目15番5号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410